



すくすく健康部会

令和2年11月19日発行 第4号

お米作り大作戦！（稲刈り）



すくすく健康部会では、実体験を通して子どもたちが食と農業への関心を高めることができるよう、毎年、サポーターとともに米作りを行っています。6月には、2年生が田植えを体験しました。その後、リレー方式で担当学年が稲の成長日記をつけ、掲示板で報告したり昼の放送で発表したりしました。例年、水の管理や草取り、施肥や消毒など、子どもたちができない作業は、サポーターの皆さんにお願いしています。今年は、心配した台風の影響もほとんどなく、収穫を迎えることができました。

そして、10月19日に3年生が稲刈りの体験をしました。サポーターの皆さんが、「親指を下にして稲束の下の方を握り込んでごらん。」「鎌の使い方はこうやるといいよ。」などと、子どもたちに具体的なアドバイスをしてくれました。3年生は、前日までの雨でぬかるんだ田んぼに足をとられながら、真剣な表情で頑張りました。サポーターさんからは、落ち穂1本の大切さも教わり、最後はみんなで散らばった落ち穂を拾い集めました。

11月10日は、おにぎり給食の日でした。収穫したお米を全校児童が持ち帰り、家庭でおにぎりを作り持参しました。さて、お米がどんなおにぎりに変身したかについては次号で報告します。田起こしから収穫まで、多くのサポーターさんが関わってくださったことに心から感謝します。



いねのたばをかまを切る時に、森田さんが「おにぎりの平でいざりこんでさく」と切ろうと教えてくれました。わたしは何にでもこつがあること気づきました。

わたしの家はのう家で分が中にお米を作っています。いそがしい時には、家ごとかきつたします。これからは、わたしも自分からきつたいをしたしたいと思います。

ぼくは、はじめてかまでいねのたばをかき切りました。はじめは上手くてきかないと思いましたが、説明を聞いた後、ためしたら、聞いてからたんで、上手く切れたので、うれしかったです。でも全部かまでかき切ると時間もかかるし、体がいたくなるとつかれると思います。残りをコンバインでかるとあっという間でした。すごかったです。



ありがとう

わくわく学習部会



はぐくみ運動「ありがとうをみつけよう」の実践から

今年のはぐくみ運動では、「困難に出会っても粘り強く努力することができる」心の弾力性（レジリエンス）を鍛えて、成長する力をつけていく試みをしています。第1弾として、7月下旬に学校で「ありがとうをみつけよう」という教材で学習をしました。その後、おうちでも「ありがとう」をみつけて伝え合い、その感想をお寄せいただきました。学校での実践の様子とおうちでやってみての感想をいくつかご紹介します。



低学年



中学年



高学年



ありがとうということばは、とてもうれしくなるので、だいじにしたいです。

みんなからたくさんありがとうをもらった。小さなことでもうれしく思ってくれてよかった。

家族のためにたくさんのことができているんだと気づきました。これからもこれのためにやることをしたいと思いました。

ふだん当たり前にしてもらっていることも「ありがとう」が言えると分かりました。

わたしは、ありがとうをたくさんもらいました。みんな、だいじな友達や家です。ありがとう。

親に、「ありがとう」という機会があまりなかったから、伝えることができよかったです。改めて見つめ直すと、自分はこんなに何かをもらっていたことがよく分かりました。これからも言い続けていきたいです。

「おうちの人から一言」より

- ・ いつもいつも笑顔でいてくれてありがとう。
- ・ 小さなことでも「ありがとう」と感謝できる、豊かな心をずっともっていてね。
- ・ 言っていない「ありがとう」がたくさんありました。口に出して伝えるようにしたいですね。
- ・ 「ありがとう」は、言っても言われても気持ちのよい魔法の言葉だね。たくさん言い合おうね。
- ・ みんなが笑顔になれる「ありがとう」の言葉を意識しないでさらっと言えるようになれたらいいね。
- ・ 「ありがとう」って素敵な言葉だね。これからも人のいいところ、自分のいいところをたくさん見つけて、感謝の気持ちを忘れずにね！
- ・ 勉強だとかテストの点について最近厳しく息子に怒ってしまい、怒った後に後悔することが多かったように思います。今日からは息子に1日1回は褒めて接しようと思いました。

子どもたちも、おうちの方々も、「ありがとう」の言葉の温かさや大切さを実感できたようです。これからも「ありがとう」の言葉を伝え合い、温かい気持ちを広げていきたいですね。ご協力ありがとうございました。

